

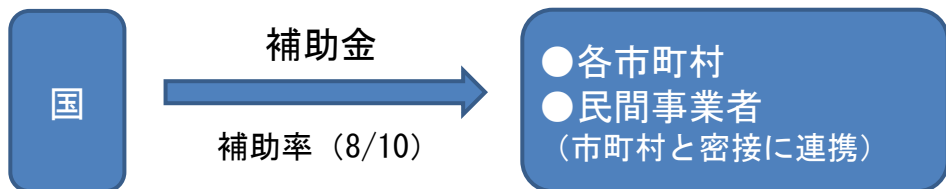
沖縄振興特定事業推進費（内閣府政策統括官（沖縄政策担当））

8年度予算額 **95.0億円**
（7年度予算額 95.0億円）

趣旨・目的

- 沖縄振興特別推進交付金（ソフト交付金）は、県及び市町村が事業を計画的・継続的に実施するための財源として、客観基準に基づき、毎年度、県及び市町村に安定的に配分されるものであるため、多様な地域課題・政策課題への迅速・柔軟な対応が困難なケースもあり得ます。
- 沖縄振興特定事業推進費は、このようなケースに備え、ソフト交付金を補完し、
 - ・機動的に事業を推進するための財源として、臨機応変な財源捻出が困難な市町村が実施する事業への支援
 - ・市町村が認定する公共性を有する事業を推進するための財源として、市町村と密接に連携する民間事業者が実施する事業への支援を行います。

資金の流れ



事業概要

- ◆補助の根拠：予算補助
- ◆補助対象者：市町村
市町村と密接に連携して取り組む民間事業者
- ◆補助率：8/10
- ◆補助対象事業：ソフト交付金の対象事業（沖縄の振興に資する事業及び沖縄の特殊事情に起因する事業）のうち、以下の要件を満たすもの

市町村補助金

- ① 機動性要件（注）
（多様な地域課題・政策課題に対応するため迅速・柔軟に実施する必要がある事業等）
- 先導性要件
（他の市町村にも広げていくことが望ましい事業）
- ② 又は
広域性要件
（事業の効果が当該市町村にとどまらず広域に及ぶと見込まれる事業）

民間補助金

- ① 公共性要件
（多様な地域課題・政策課題に対応するための公共性を有する事業等）
- 先導性要件
（他の市町村にも広げていくことが望ましい事業）
- ② 又は
広域性要件
（事業の効果が当該市町村にとどまらず広域に及ぶと見込まれる事業）

注）複数年度にわたる事業については、初年度は要件①②を満たすものとし、2年度目以降は要件②を満たすもの。

令和7年度における沖縄振興特定事業推進費の活用事業例

R7年度交付決定額：89.3億円（39事業）

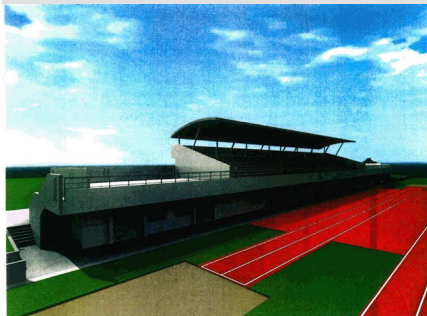
「崇元寺跡」整備活用事業 (那覇市)

R7交付決定額：4.8億円



ごさまる・スポーツ観光 交流拠点形成推進事業 (中城村)

R7交付決定額：3.5億円



西表島 世界遺産センターの整備 (竹富町)

R7交付決定額：4.5億円



人工透析施設の整備 (宜野座村)

R7交付決定額：1.6億円



金融・IT産業等 集積施設の機能強化 (名護市)

R7交付決定額：3.9億円



名護市農水産物供給強化拠 点施設整備事業 (名護市)

R7交付決定額：0.4億円



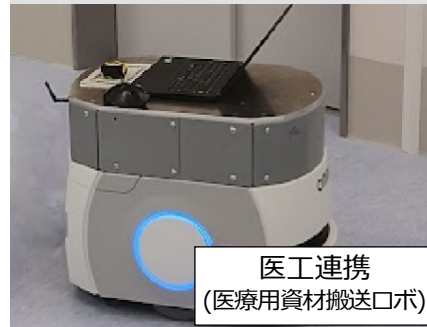
北谷町野球場機能強化事業 多目的屋内運動場の整備 (北谷町)

R7交付決定額：0.1億円



異業種連携による 事業創出モデルの構築 (カサイエレクトク株式会社)

R7交付決定額：1.0億円



北谷町公共空間 有効活用モデル事業 (一社デポアイランド通り会)

R7交付決定額：5.0億円



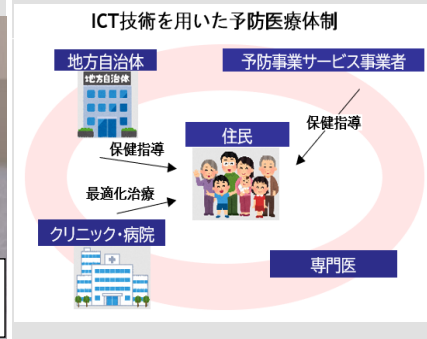
沖縄の国際競争力強化 持続的発展に向けた調査 (GW2050PROJECTS 推進協議会)

R7交付決定額：2.1億円



ICT技術を用いた 予防医療体制構築事業 (中部地区予防医療事業コン ソーシアム)

R7交付決定額：1.1億円



食の拠点施設整備事業 (ハーベストネクスト 株式会社)

R7交付決定額：6.5億円



国際通り情報発信基盤 (沖縄振興エリアマネジメント 推進共同体)

R7交付決定額：3.2億円



多様魚種陸上養殖と 人材育成基盤の構築 (株式会社紅仁)

R7交付決定額：2.0億円

